

人にやさしく！

校長 新居崎 杉彦

あけましておめでとう！今年こそ、特別な一年にしよう！

新年あけましておめでとうございます。子どもたちの元気な声が校庭に戻ってきて、丹波市小学校の2021年がスタートしました。昨年末の終業式で、「家族の一員として、おうちの大掃除に参加しよう」と話しましたが、子どもたちはご家庭の大掃除に協力していたでしょうか。今年は、感染症の予防のため、おじいちゃんやおばあちゃんに会わずに寂しい思いをした子どもたちも多いと思います。例年と違うお正月を過ごし、いろいろと自粛しなければいけない年の初めとなりましたが、子どもたちにも保護者の皆様にも良き一年となるように、学校とご家庭が協力してこの一年を歩んでいけたらと思います。今年も、本校の取組にご理解とご協力をよろしくお願いします。

さて、昨年は、「東京五輪・パラリンピック」開催年を迎えたことで「特別な一年にしよう」と書きましたが、感染症が拡大して今までの生活が一変する「特別な年」になってしまいました。今年は、世界中の人々と一緒にみんなで感染症を乗り越える記念すべき一年になってほしいと願っています。そのような忘れがたい一年になれば、これから先「コロナが収まったときは何年生だった？」と聞かれることも多くなるのではないかと思います。昨年も書きましたが、どの年も同じ一年のはずなのに、「人それぞれではなく、すべての人にとって特別な一年になる年がある」ということを強く感じています。今年は、そんな特別な一年になってほしいと願うからこそ、子どもたちには「何に取り組んだのか」、しっかりと記憶に残る一年にしてほしいと願っています。ご家庭でも、新しい年を迎えた子どもたちの「今年の目標」を聞いてあげてください。そして、子どもたちに温かい声かけをよろしくお願いします。



わくわくまつり2020

12月21日（月）に、「わくわくまつり2020」を開催しました。この取組は、2年生から6年生までの各クラスが、各ブース（ゲーム・あてもの・迷路など）を設けて、全児童がブース巡りをするというものです。この日に向けて、各クラスでは力を合わせて準備してきました。今回はお化け屋敷ができなくて、6年生の各クラスではみんなでアイデアを出して、新しいブースに取り組んでもらいました。当日は、6年生を始め、どのブースも子どもたちの笑顔があふれ、賑やかに盛り上がっていました。このような取組を通して、自分たちで考え、自分たちで作りに上げることのすばらしさを感じてほしいと願っています。

ユニセフ募金活動

12月7日（月）～9日（水）の登校時に、本校児童会のメンバーで「ユニセフ募金活動」をおこないました。毎年、児童会で協議して募金活動をおこなっていますが、今年は、約6秒に1人失われている小さな命を救うために全校児童に呼びかけてユニセフ募金活動をおこないました。今年はみなさんの協力で、8,397円が集まりました。保護者の皆様、本当にありがとうございました。お正月明けには、ユネスコ協会が主催している「書き損じハガキ・キャンペーン」があります。これは、学校に行けない世界中の子どもたちへ、書き損じハガキを寄付して学ぶ機会を応援する取組です。

これからもみんなの「人にやさしく」の気持ちを広げていきたいと思えます。ご協力をよろしくお願いします。



スマホ安全教室

12月4日（金）に、KDDI株式会社から講師の方に来ていただき、スマホ安全教室を開催しました。この日は、スマートフォンやSNS、オンラインゲームなどの安全な使い方を学びました。どの学年も、元元よく手を挙げて発言していましたが、話が身近なトラブルエピソードになると真剣な表情でスマホやインターネットの使い方について考えていました。

スマホやインターネットは便利で楽しい反面、使い方を誤ると多額のお金を請求されたり、良好な人間関係が崩れたりします。スマホ安全教室でどのようなことを学んだのか子どもから聞いて、ご家庭でも一緒に考える機会にさせていただきたいと思えます。